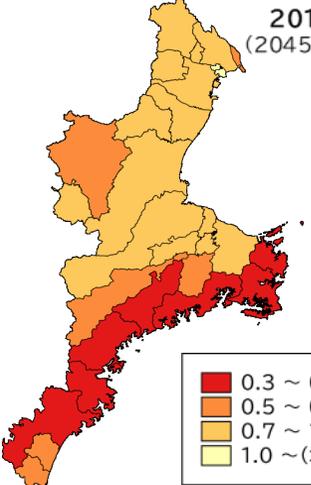


事業概要【県南部地域の課題解決に向けた人口減少対策事業】

旧制度（推進）

申請者	三重県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	71,754千円 (23,938千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手同士の活動連携及び交流等の強化 ・移住の促進 ・地域の魅力発信・体感機会の提供 ・取組に係る課題の深堀と新たな取組の実施 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 人口減少が著しい県南部地域において、若者の定住率等を改善するために、分野横断的な社会減対策（地域のネットワーク強化、課題やニーズの把握及び取組の検討）や、地域の魅力発信・体感機会提供に向けたツアーの実施に取り組む。</p> <p>【主な経費】 地域活動の担い手の横の連携強化、移住の促進、ワーケーションの促進、地域課題の深堀と新たな取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会開催、移住促進に向けた情報発信、ワーケーションに関する地域の意向調査、ヒアリングの実施等（委託料） 19,918千円 県南部地域の企業見学や地域で活躍している方々との交流をはかる、地域で暮らすことの魅力を体感するツアーの実施 ・ツアー実施に係る経費（委託料） 4,000千円 		<p>2015年～2045年 市町別人口減少率 (2045年社人研推計人口÷2015年国勢調査人口)</p>  <p>人口減少の著しい 県南部地域で 課題解決に向けた 取組を実施</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①南部地域の若者の定住率における本県推計からの改善値 (+5.61%) ②地域住民等が主体となった地域への新たな活動件数 (+91件) ③南部地域内の企業・魅力体感事業への参加を通して、南部地域に定住することとなった若者の人数 (+10人) ④コーディネーターが実施する地域住民等に対するヒアリング・ワークショップの回数 (+360件) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm</p>

事業概要【カーボンニュートラルへの動きをチャンスととらえた三重の産業振興事業】

旧制度（推進）

<p>申請者</p>	<p>三重県</p>	<p>初回採択回</p>	<p>令和5年度第1回募集</p>
<p>事業計画期間</p>	<p>R5-R7年度</p>	<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)</p>	<p>100,459千円 (27,142千円)</p>
<p>事業タイプ・類型</p>	<p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>	<p>事業分野</p>	<p>ローカルイノベーション分野</p>
<p>目的・効果</p>	<p>・本県の南部地域の豊かな自然環境等のポテンシャルを活用した再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、エネルギーの地産地消により、地域の雇用創出や地域経済の活性化を図ります。</p> <p>・J-クレジット制度等を通じてカーボンニュートラルに資する森林等の整備や適正管理に対し投資が進むとともに、林業従事者等の新たな収入源の確保を図ります。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 再生可能エネルギーの地産地消による地域活性化について検討を進める。また、J-クレジットの活用促進に向け、県行造林における創出・販売の検証、スマート技術の利活用への支援、効果的な活用モデルの普及啓発などに取り組むとともに、第一次産業におけるカーボンのクレジットの活用推進に向けた普及啓発を行う。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生可能エネルギーの導入と特性を生かした地域経済の活性化プロジェクト ・有識者からの評価、ヒアリング 300千円 ・事業推進経費 267千円 ○林業の活性化に向けたJ-クレジットの活用促進 ・森林吸収クレジット認証取得・展開 16,505千円 ・林業DX普及展開 5,131千円 ・J-クレジット等の効果的な活用の調査・検討 1,939千円 ○林業以外の第一次産業の活性化に向けたカーボン・クレジットの活用 ・新たなCO₂吸収源にかかる活用促進 3,000千円 		<p>出典：https://www.meti.go.jp/press/2021/01/20220113001/20220113001-1.pdf</p> <p>出典：https://japancredit.go.jp/about/outline/</p>
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①地産地消型エネルギーシステムに係るビジネスモデル構築数（+2件） ②地産地消型エネルギーシステムに係る新規事業参画事業者数（+2者） ③J-クレジット制度における森林管理プロジェクトに登録する新規事業者・団体数（+2者） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm</p>

事業概要【みえの農林水産業経営安定化事業】

旧制度（推進）

申請者	三重県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	142,660千円 (50,059千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料・肥料などの資材の安定供給、供給力の強化 ・藻類・魚類養殖の安定生産と恒常的な販路拡大 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 コスト削減や生産体制の強化、販路拡大などに取り組むことで農林漁業者の経営安定を図り、雇用の創出や所得の向上など地域の活性化に貢献する。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○飼料の自給体制構築事業、肥料の自給体制構築事業 ・県内農家における生産実証（委託料）814千円 ・機械導入経費（補助金）4,000千円 ・県研究所における生産実証等の事業推進経費 8,416千円 ○米粉の生産拡大推進事業 ・米粉の加工適正評価（委託料）750千円 ・生産実証場所の設置・運営に係る経費 1,631千円 ○黒ノリの色落ち緊急対策事業 ・大規模養殖試験（委託料）6,000千円 ・小規模養殖試験や効果検証 1,112千円 ○県産水産物販売チャンネル拡大事業 ・フェア開催や量販店への売り込み（委託料）19,306千円 ・生産現場へのアドバイザー派遣等（委託料）8,030千円 	   	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①農林水産業における県内新規就業者数 (+9人) ②飼料・肥料の自給体制構築に取り組むモデル農家数 (+33戸) ③施肥に取り組む経営体の黒ノリ生産枚数の増加量 (+37万枚) ④県産水産物フェア開催量販店における県産水産物の販売金額 (+630百万円) 	関連URL	https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm

事業概要【地域一体型スタートアップ支援事業】

旧制度（推進）

申請者	三重県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	26,130千円 (7,982千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	スタートアップ、企業、創業支援機関、大学、金融機関等の関係者が一体となってスタートアップを自律的・継続的に創出し、持続的に経済が成長し、誰もが取り残されず住みたい場所に住み続けることができる地域をめざす。		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 起業未経験者から事業化に至る各ステージへの取組を段階を踏みながら一体的に進め、デジタル技術等を活用した革新的な製品・サービスによるスタートアップを創出する。</p> <p>【主な経費】 ○オープンイノベーションの促進 7,982千円 新事業展開を促進するため、スタートアップをはじめとする革新的な技術・サービスを持った他者との連携を促進する場を設け、地域における機運を醸成する。</p> <p>○新規事業創出ワークショップ【一般財源対応】 参加者同士のディスカッションを通じて実践的に検討を行う機会を提供し、スタートアップの創出を促進する。</p> <p>○スタートアップカフェ（スタートアップ支援プラットフォーム運営事業）【一般財源対応】 交流会等を開催し、新規事業の創出を促進する。</p>		
KPI	<p>①三重県における新規事業創出数（+18件）</p> <p>②県外事業者による県内での課題解決に向けた新規取組数（+11件）</p> <p>③対象事業に参加する事業者数（+18事業者）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【戦略的なプロモーションによる三重の魅力発信】

旧制度（推進）

申請者	三重県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	226,785千円 (65,377千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・三重の魅力ある地域資源を効果的に発信するとともに、「三重県」全体の認知度を高める効果的なプロモーションに取り組み、観光、食、県産工芸品や移住など、あらゆる場面において「選ばれる三重・多くの人々をひきつける三重」の実現をめざします。</p> <p>・特に観光においては、旅行者のニーズが多様化する中、戦略的なプロモーションやツールの活用による効果的な発信に取り組むとともに、二次交通の充実に向けた取組等を進め、観光地としてのブランドイメージ向上を図ります。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 「美し国みえ」を統一キャッチフレーズとして、大都市圏における統一かつ効果的・効率的なプロモーションを推進していきます。 また、「観光三重」サイトの機能強化による効果的なプロモーションや伊勢志摩観光型MaaSツールを活用した移動手段の提案等により、県内の周遊を促進します。</p> <p>【主な経費】 ○トータルプロモーションの推進 ・「美し国みえ」プロモーションの推進（委託料）14,039千円 ・首都圏等における三重県プロモーションの実施（委託料）24,282千円 ○首都圏等大都市圏から三重県への周遊促進 ・情報発信媒体掲載料（委託料）8,652千円 ○「観光三重サイト」の機能強化 ・「観光三重」サイトからデータを取得・分析し、データに基づくプロモーションやブランディングを実施（負担金）5,000千円 ○伊勢志摩観光MaaSツールの導入・運用事業 ・伊勢志摩MaaSの利用促進のためのプロモーション、キャンペーンの実施（負担金）11,000千円</p>		  <p>令和6年度首都圏における 三重県プロモーションイベントの様子</p> <p>※観光三重HP</p>
KPI	<p>①県内の観光消費額（+2,231億円） ②県内の延べ宿泊者数（+353万人） ③首都圏・関西圏における観光旅行先としての三重県への訪問意向および三重県産品の購入意向の割合（+6.4%） ④伊勢志摩観光MaaSツールの登録者数（+400,000件）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【持続可能な農林水産業の振興事業】

旧制度（推進）

申請者	三重県	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	398,916千円（127,857千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的・効果	農山漁村地域において、雇用機会の創出・拡大や所得の向上を図る ・農林水産業における労働力確保 ・気候変動に対応した農林水産業の実現 ・県産農林水産物の販路拡大・輸出拡大			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 持続可能な農林水産業の振興に向けて、労働力不足や気候変動への対応、農林水産物の販路拡大・輸出拡大、農山漁村の振興に取り組む。 【主な経費】 ○労働力不足への対応（漁業の担い手確保） ・専門家派遣による個別伴走支援（委託料） 1,340千円 ・「みえ漁師Seeds」の新コンテンツ作成（委託料） 902千円 ○気候変動への対応（環境変化に対応した海女漁業推進） ・サザエの種苗生産試験や放流試験（委託料） 2,809千円 ・サガメ種苗の生産試験（委託料） 1,152千円 ○販路拡大・輸出拡大（農林水産物販売チャンネル拡大） ・販路開拓、フェア開催、生産・流通・販売システムを活かした関西圏等のホテルや飲食店等への流通量の拡大（委託料） 8,072千円 ・大規模イベント等への出展経費 1,154千円 ○農山漁村の振興（農泊の推進・レベルアップ） ・モデルツアーの企画・実施（委託料） 7,000千円			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産業における県内新規就業者数（+9人） ②海面養殖業産出額（+4,020百万円） ③県産農畜産物の新たな取引件数（+45件） ④農山漁村地域における新たに生まれた地域の自立的な取引組数（+51取引組）		関連URL https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/m0005000081.htm	

事業概要【持続的な観光地づくりに向けた取組】

申請者	三重県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,239,056千円 (820,212千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 国内旅行者だけでなく外国人旅行者にも旅行先として選ばれ続けるとともに、観光産業が本県の経済を牽引する産業の一つとして持続的に成長するなど、持続可能な観光地となり、地域全体の発展につながることを目指します。 						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 海外レップやSNS等を活用したプロモーションにより三重県の認知度向上を図るとともに、旅行者が快適に滞在できるよう受入環境の充実に取り組みます。また、観光事業者を対象に個別コンサルティングやワークショップを実施し、生産性の向上、人材確保を推進します。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海外レップの設置等による現地におけるプロモーション ・レップ設置（委託料、負担金）77,950千円 ○SNS等デジタルを活用したプロモーション ・三重県観光連盟によるデータ分析を踏まえた海外向け多言語公式SNS等を活用したプロモーション（負担金）23,176千円 ○観光産業の生産性向上、人材確保 ・生産性向上・人材確保に係る個別コンサルティング（委託料）28,992千円 ○受入環境の充実 ・宿泊施設等の改修（補助金）570,000千円 					 <p>海外レップによるセールス</p>	 <p>生産性向上・人材確保に係るセミナー</p>
地域の多様な主体の参画	<p>三重県観光連盟の総会・理事会において、県内観光事業者、金融機関、市町と事業の検証等を行います。</p> <p>三重県観光審議会において、大学教授等の有識者から観光施策の意見をいただき、取組を検討します。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①県内の観光消費額（+1,850億円） ②県内の外国人延べ宿泊者数（+27.2万人） ③観光従事者満足度（+9.4%）



宿泊施設の和洋室化による高付加価値化改修イメージ

事業概要【元気なみえの農山漁村をめざして】

申請者	三重県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	506,849千円 (182,545千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>農山漁村地域の基幹産業である農林水産業の持続的な発展に加え、すばらしい自然環境や景観、文化を活かし、農山漁村地域での「働く場の確保」と「所得の向上」につなげます。</p> <p>・農林水産業事業者の所得の向上 ・農林水産業における労働力の確保 ・農山漁村地域の振興</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 農林水産業において、「所得の向上」と「労働力の確保」に加え、「農山漁村の振興」に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○気候変動への対応（新たなマガキ養殖による浜の活力再生） <ul style="list-style-type: none"> ・三倍体種苗の生産技術の実証（委託料）4,500千円 ○生産性・ブランド力向上（伊勢茶ブランドリノベーション） <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢茶のブランド力強化支援（補助）35,929千円 ○地域資源の有効活用（低利用食材の利用拡大） <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発や販売ストーリー構築（委託料）5,950千円 ○効果的な流通（農林水産物の流通モデル構築） <ul style="list-style-type: none"> ・新たな流通モデルの試行・検証（委託料）3,875千円 ○輸出拡大（三重の米輸出促進） <ul style="list-style-type: none"> ・輸送試験や現地における精米試験（委託料）2,500千円 ○多様な担い手の確保（農業分野） <ul style="list-style-type: none"> ・外国人材の活用に向けた研修会開催（委託料）1,000千円 ○農山漁村の振興（インバウンド受入加速化） <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの造成に係るマーケティング調査（委託料）4,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>農林水産事業者や漁連やJAなど、関係団体と連携し、事業に取り組むことで、農林水産業の自立を図る。</p> <p>また、県内市町に加え、高校生や金融機関、報道機関、社会保険労務士と連携することで、生産から販売・流通まで総合的に取り組み、元気なみえの農山漁村の実現を図る。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①農林水産業における県内新規就業者数（+9人） ②農業産出等額（+27億円） ③海面養殖業の1経営体当たりの産出額の増加率（+8.1%） ④農山漁村地域における新たに生まれた地域の自立的な取組数（+51取組）

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【若者から「選ばれる三重」になるための移住促進事業】

申請者	三重県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	301,029千円 (100,773千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・県外からの移住を促進するとともに、県外へ進学した若者のUターンに向けた取組が進みつつある状態、市町や地域において移住を受け入れる環境づくりが進んでいる状態を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 移住者のニーズや特性に応じたプロモーションを実施する。 【ソフト事業経費】 ○移住促進に向けた取組 ・首都圏での相談体制と機運醸成 26,183千円 ・移住希望者のニーズに応じたプロモーション 30,663千円 ・三大都市圏での県独自フェアの開催 19,625千円 ・企業と連携した体験ツアー 2,680千円 ・移住者を受け入れるコミュニティと人材育成 5,593千円 ○県内高校生の職業理解促進に向けた取組 ・企業展の開催 2,790千円 ・企業と連携した探求学習 3,120千円 ○三重で暮らす・働く魅力の発信 ・県内外の学生等の若者に向けた情報発信 10,119千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>県内29市町による移住者を支援する施策について、移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションを実施します。また、経済団体や大学とも連携し、UIターン就職や学生の県内就職の促進にも取り組みます。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①県及び市町の施策を利用した県外からの移住者数 (+150人) ②企業展・探求学習に参加した学生の県内企業への魅力度 (+70%) ③高等教育機関卒業生の県内就職割合 (+8.5%)</p>

※経費内訳はR7年度事業費

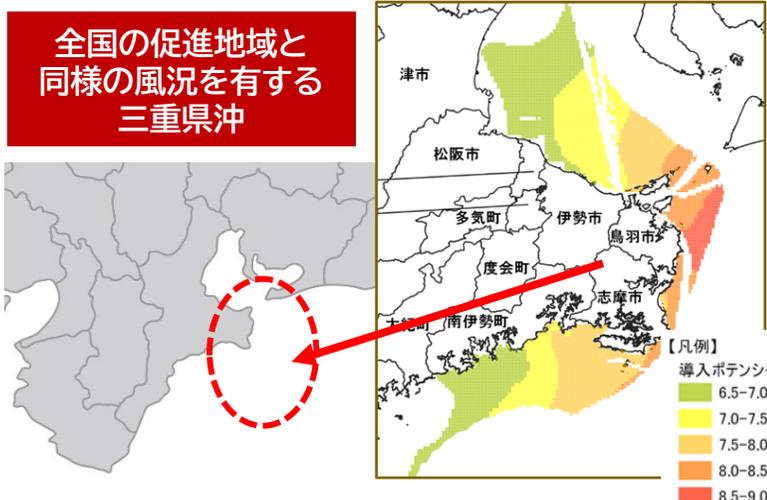
事業概要【ダイバーシティ社会推進プロジェクト事業】

申請者	三重県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	36,822千円 (13,373千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<p>・性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認などにかかわらず、誰もが自分らしく社会に参加、活躍できる、ダイバーシティ先進地に向けて取り組み、より魅力と活気ある選ばれる地域をめざす。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 ダイバーシティの考え方の普及・浸透をさらに発展させ、県内での横展開を図るため、性の多様性（LGBTQ等）に関する取組、障がい者雇用に意欲のある企業を支援する取組など、さまざまな事業を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○ダイバーシティ社会の実現に向けて、気づきを体感できる講座・ワークショップ・啓発を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ推進の企画・運営（委託料）2,143千円 ○性の多様性（LGBTQ等）に関する講座・イベント、啓発品配布 ・県民向け啓発および相談窓口（委託料）7,233千円 ○障がい者の働きがいのある仕事（ディーセント・ワーク）の推進 ・アドバイザー派遣事業費（委託料）3,997千円 				<p>デジタル技術を活用した障がい者のテレワーク雇用の事例</p>  	
※経費内訳はR7年度事業費					<p>県民向け啓発および相談窓口</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>○学校や自治体へ性の多様性に関する相談窓口、イベント、当課作成の成果品等の周知を行うとともに、審議会での意見聴取から改善点を明確にし事業内容へ反映する。</p> <p>○県内の特別支援学校の生徒や障がい者の雇用を促進するため、NPO法人や就労支援移行事業所等と共同して障がい者の雇用の推進に取り組む。</p>				KPI	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ol style="list-style-type: none"> ①三重県からの転出超過数（▲300人） ②「三重県パートナーシップ宣誓制度」の利用先として県ホームページに掲載している団体数（+30団体） ③当該交付金事業による多様で柔軟な働き方（テレワーク、短時間雇用やA Iによる雇用等）による雇用障がい者数（+24人）

事業概要【地域の魅力再発見事業】

申請者	三重県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	82,440千円 (22,440千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 社会減の状況が続く中、三重県誕生150周年という節目を迎えるにあたり、今一度、三重県という地域の持つ素晴らしさを若者や子供たちに伝え、地域への愛着や誇り（シビックプライド）を醸成し、三重県で生活していくことを選択してもらうことで、地域の担い手を確保し、持続可能な地域社会の実現をめざす。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 三重県の「自然」、「文化」、「産業」など地域の魅力を若者や子供たちに伝え、郷土愛や誇り（シビックプライド）を醸成する取組を実施。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○地域の魅力再発見事業 22,440千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民とともに三重の魅力を伝えるHPの作成 三重県の魅力や歴史・文化を発信する啓発パネルやPR資材の作成。また、それらを用いた巡回展示の実施。 					  <p style="text-align: center; color: orange; font-weight: bold;">三重の未来を次世代につなぐ</p>  	
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体との連携により事業効果を高めるため、県民自身や県内企業等に地域の魅力を発見・発信して頂く「三重県誕生150周年記念事業パートナー登録制度（仮称）」を実施。 					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①三重県からの転出超過数（▲200人） ②県内の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合（+6.3%） ③県外の就職支援協定締結大学卒業生（三重県出身者に限る）が県内に就職した割合（+9.6%）

事業概要【「みえ次世代クリーンエネルギー」による地域創生・活性化事業】

申請者	三重県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	124,492千円 (37,642千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 次世代クリーンエネルギーの導入に向けた洋上風力発電のポテンシャル調査、県内港湾の活用調査を実施し、関連産業の参入促進のための交流会等を開催するほか、次世代型太陽電池の実証を進める。 将来的な次世代クリーンエネルギーの本格導入と持続可能な運用を確立できるよう、洋上風力発電の技術研究会の運営、人材育成を実施するほか、次世代型太陽電池の実証・展開により産業・雇用の創出を目指す。 						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 洋上風力発電について、国の次期実証事業への応募を見据えたポテンシャル調査等を実施するほか、次世代太陽光発電の導入に係る検討・実証を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○洋上風力発電の港湾整備に係る効果・整備可能性調査に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・港湾の経済波及効果等の調査 委託料 (27,276千円) ○洋上風力発電導入可能性調査に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・着床式の沿岸海域の環境要件、浮体式の大水深海域のポテンシャル調査 委託料 (5,000千円) ○県内洋上風力発電関連企業マッチングに関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、説明会、交流会開催経費 委託料 (2,000千円) ○次世代型太陽電池導入可能性調査に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代太陽電池の導入のポテンシャル調査 (1,300千円)、実証試験・調査消耗品等 (1,898千円) 他 					 <p>全国的促進地域と同様の風況を有する 三重県沖</p> <p>【凡例】 導入ポテンシャル 6.5-7.0m/s 7.0-7.5m/s 7.5-8.0m/s 8.0-8.5m/s 8.5-9.0m/s</p>	
地域の多様な主体の参画	関係企業との研究会や関係市町との勉強会等で意見交換を行い、必要に応じて事業内容への反映を図る。そのほか、高等教育機関との間で意見交換や情報共有を行う。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①県における新規の常用雇用者数 (+25,200人) ②研究会への参加企業数 (+8事業者) ③洋上風力技術の人材育成数 (+40人) ④次世代太陽光発電の県内導入件数 (+5件) ⑤再生可能エネルギー導入量 (+90,000kw)

事業概要【スポーツを核とした人流の創出で活力を生む「つ」のまち活性化プロジェクト事業】

旧制度（拠点）

申請者	三重県津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,908,376千円 (23,028千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>中心市街地に近接して位置する既存競技場を、大規模スポーツ大会やスポーツ合宿を呼び込むための屋外スポーツの拠点施設として再構築することに加え、同施設を拠点としたスポーツコミッション体制を構築して観光資源等を組み合わせたスポーツツーリズムを推進することにより、スポーツ関係者の来訪を呼び込むとともに、従来通過型の来訪者を立寄型・宿泊型へ転換して交流人口を拡大し、更には本市の魅力を発信してリピートに繋げて稼ぐ力をつけ、従来取り組んでいる定住増加策との相乗効果により、定住人口の増加に繋げ、市全体の地域再生を目指す。</p>		
<p>整備内容・利活用方策</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【整備内容・利活用方策】</p> <p>津市海浜公園内陸上競技場を本市の屋外スポーツ施設の拠点として、域外からの広域的な大会や合宿誘致が可能となるよう、サッカーを始めとした多目的に利用可能なスタジアムや駐車場を整備する。施設内には、新たに市民の健康増進、体力維持のためのランニングロードを整備する。</p> <p>また、スポーツコミッション窓口の機能を備えた管理棟を整備する。さらに、競技場内に自動撮影可能なAIカメラ等を設置し、大会や合宿の撮像を活用した試合の分析や選手の動きの解析ができるなど、会場の魅力向上を図る。</p> <p>【施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容】</p> <p>実施設計業務 7,782千円（継続費2年目）</p> <p>【効果促進事業（ハード事業）の内容】</p> <p>建築解体工事一式 15,246千円</p>		
KPI	<p>①津市の人口（▲12,202人）</p> <p>②津市海浜公園内陸上競技場への来場者数（会議室含む）（+69,000人）</p> <p>③津市海浜公園内陸上競技場における合宿及び大会、記録会（+40回）</p> <p>④域外からの宿泊客数（+3,500人）</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1737618273454/index.html</p>



事業概要【こどもが遊びを創造・親子で共感する交流拠点「（仮称）わんぱーく ひさい」整備事業】

申請者	三重県津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	871,620千円 (40,568千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>久居中央スポーツ公園内プールを廃止し、こどもが遊びを創造し、遊びを通じて「出来た」が体験でき、こどもが中心となった新たな人のつながりを生む「（仮称）わんぱーく ひさい」へと再生（Reborn）し、久居地域の強みである津波の心配がない高台に新たに子育てしやすい環境を整備することで、若者や子育て世帯の定住と人口増加を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 久居中央スポーツ公園という地域資源を再生し、“こどもが遊びを通して「出来た」を体験でき、こどもを中心とした新たな人のつながりを生む公園を創る”ことをテーマとした「（仮称）わんぱーく ひさい」として再構築する。</p> <p>【主な経費】 こどもが遊びを通して「出来た」を体験でき、こどもを中心とした新たな人のつながりを生む公園を整備 ・実施設計業務（解体）（5,000千円） ・基本設計業務（18,952千円）</p>					<p>施設イメージ（仮称）わんぱーく ひさい/こどもが遊びを創造・親子で共感する交流拠点の整備</p> <p>※施設等写真はイメージ</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>地元企業等と連携し、施設管理（指定管理）、ネーミングライツ、遊具・設備寄贈、社会見学の共同受入、イベント協賛、社会貢献事業による公園認知度の向上、来場者増について意見をもらう。 子育て支援団体、地元高校・大学・短期大学等と連携し、子育て支援イベント、マルシェ等の開催、施設向上のためのアイデアの提案、食育講座の開催、施設及び運営組織に意見をもらい利用者の増、長期的な取組を図る。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①久居地域の0歳～45歳の人口（+500人） ②公園利用者数（+7,389人） ③遠足、団体ツアー等の団体利用件数（+143件） ④子育て世帯の住みやすさ（+4.00%）</p>

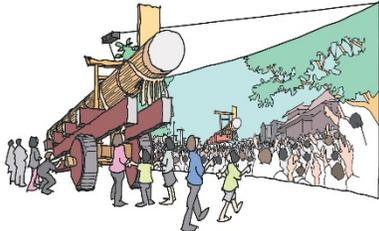
事業概要【津城跡（お城公園）整備事業】

申請者	三重県津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	294,431千円 (7,908千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型モビリティ（シェアサイクル・電動キックボード）の導入実験を中心市街地との交通拠点である鉄道駅などで実施する。お城公園駐車場にもポートを設置し、アクセス性と回遊性の向上を図ることにより、公園利用者の増加を図るとともに交流人口の増加にもつなげる。 ・ 中心市街地における歴史文化を有する公園において、子育て世代から要望が多い施設の整備により子育てを支援するとともに、中心市街地における交流人口の増加を目指す。 ・ 津城跡において現存しないかつての城郭・櫓等を仮想現実（AR・VR）として体感できる環境整備を行うことで、地域の文化的資産・歴史文化について市内内外へ発信するとともに新たな人の流れを生み出す機会を図る。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 史跡として津城跡にも指定され供用している面積約3.51haの都市公園であるお城公園において、敷地内の石垣に近接した位置にある旧社会福祉センターの除却に合わせて、隣接した遊び場と一体的利用（空間整備）を行うことで、中心市街地における観光・文化振興に寄与する景観スポットとして、また、子育てを支援する公園として整備する。 また、新型モビリティの導入により、アクセス性向上と回遊性向上を図り、公園利用者の増と中心市街地へ立ち寄る仕組みづくりを目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】 シェアサイクル等導入実験事業 ・シェアサイクル（委託料）（2,918千円）</p> <p>【拠点整備事業経費】 津城跡お城公園に子育てに資する公園を整備 ・基本設計（委託料）（4,990千円）</p>						
地域の多様な 主体の参画	商工団体、企業、行政、市民等で構成するエリアプラットフォームとの連携を図り、まちづくりに関する意見について聴取するとともに、津市子どもまななか社会実現会議や津市観光ボランティアガイド・ネットワーク協議会との連携を図り、子育て当事者目線や観光目線等多様な意見を聴取し、事業内容への反映に取り組む。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①津市の人口増減数（社会増減数）（+45人） ②子育て世代におけるお城公園を訪問したことがある割合（+10%） ③お城公園の年間利用者数（遠足）（+15件） ④お城公園の年間利用者数（観光ガイド）（+1,530人）

事業概要【地域に活力と魅力を生み出す文化芸術活動活性化プロジェクト】

申請者	三重県津市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,113,502千円 (2,154千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<p>各地域の文化ホールを、女性や若者をはじめ市民が魅力を感じる次代に向けた多様な舞台演出が可能な施設として再生し、これらのホールを拠点にして、地域の多様な主体が参画して新たに創設する市文化芸術創造プラットフォームが核となって地域住民参加型の文化芸術活動プログラムを企画立案して実施展開することにより、市内各地域から文化芸術活動を活性化して市全域に広め、市全体の魅力度を高め、シビックプライドを醸成し、地域に活力を取り戻すことで人口の流出をくい止め、更には従来取り組んでいる定住人口増加策との相乗効果によって、関係人口や域外からの移住・定住の増加に繋げ、本市の地域再生を目指す。</p>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 地域の文化ホールにデジタル方式の音響設備の設置や照明設備をLED化し、舞台演出環境を整えることで、子どもから高齢者までを対象とする文化芸術活動の活性化を目指す。 また、再生した文化ホール機能を活かした市民の文化芸術活動に係る機運を高めるため地域文化芸術活動活性化のためのキックスタート事業を実施する。</p> <p>【拠点整備事業経費】 芸濃総合文化センター及び美里文化センターの舞台音響設備の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計（芸濃総合文化センター） 1,131千円 ・実施設計（美里文化センター） 1,023千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>市内各地域の文化ホール施設において、地域資源や地域特性を活かした文化芸術活動を連携して展開するためのネットワーク母体として、「（仮称）津市文化芸術活動創造プラットフォーム」を新たに創設する。同プラットフォームは、文化芸術に関する専門家、有識者、活動団体等で構成し、これらの構成メンバーが連携・協力して文化芸術活動プログラムを企画立案して、舞台演出機能の強化が完了した文化ホールを拠点に実施展開する。</p>				<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①津市人口増減数（社会増減数）（+220人） ②市内各文化ホールでの文化芸術活動連携事業の実施回数（+39本） ③市内各文化ホールの利用率（全ホールの年間平均）（+11.78%） ④文化芸術活動連携事業参画者数（演者、スタッフ、観客）（+19,500人） ⑤連携事業（観客）のうち、演者・スタッフへの移行希望人数（+1,016人）

事業概要【中心市街地における歴史文化・観光情報の発信と市民活動・地域交流促進の拠点整備事業】

申請者	三重県伊勢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,095,776千円 (1,095,776千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地に立地する「いせ市民活動センター」の一角に、当市の多様な歴史文化を伝えるための郷土資料館を整備する。また、観光・産業に関する情報も広く発信し、来訪者に魅力ある地域資源を知ってもらい、関心を持ってもらうことで、さらなる市内周遊を促す。 いせ市民活動センターと郷土資料館の連携した取組により、観光客と地域住民との交流を促進させる。また、施設のリニューアルにより、誰もが利用しやすいセンターとし、地域の市民活動を活性化させる。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【拠点整備事業経費】</p> <p>○いせ市民活動センターの一角に、7つのコーナーからなるテーマ展示や、文化観光の促進を目的とした情報発信を行うスペース、講演会・講座・体験プログラム等を行う多目的ルームなどを備えた、郷土資料館を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設整備 499,494千円 <p>○市民活動・地域交流の活性化のための拠点施設のリニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設整備 596,282千円 					 <p>いせ市民活動センター</p>	 <p>郷土資料館の展示例 (お木曳車と没入映像)</p>
地域の多様な 主体の参画	<p>関係機関や住民の参加を得ながら、観光、文化、地域活動の多様な視点からの専門的助言や地域の意見を取り入れ、郷土資料館といせ市民活動センターが連携して多面的な活動を展開することで、観光振興及び地域活性化を推進していく。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額 (+3,038円) ②観光客の平均立寄箇所数 (+0.22地点) ③年間来館者数 (+57,000人) ④来館者の満足度 (+4.4点) ⑤デジタルアーカイブの資料点数 (+2,600点) ⑥郷土資料館に関する北館1階の年間利用回数 (+20回)

事業概要【松阪市観光振興による地域活性化事業】

申請者	三重県松阪市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	93,843千円 (34,643千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・松阪市が誇る「歴史・文化、食、自然」をフル活用し、ナイトタイムエコミーや体験型観光商品の販路拡大と掘り起こしに、地域が一体となって取り組む。また、観光資源を外からの目線で再編集、著名人を起用し発信力のある媒体でシティプロモーションを展開、回復の弱いインバウンドに向け、海外への情報発信を強化、HP等受け入れ態勢整備と関係機関支援で現地商談会に参加。</p> <p>・これらの取り組みで、リピーターとともに、新規の観光客、インバウンド需要の取り込みを図り、観光客の増加、宿泊客数の増加、観光消費額の増加を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 まつさか着地型観光事業として、官民協働で実行委員会を組織し、ライトアップイベントを実施、みえ松阪マラソンとも連携を図り集客を行う。 インバウンドプロモーション事業として、海外のSNSやメディアを活用した情報発信、海外向けHP等の整備、国内外での商談会への参加等を行う。 観光シティプロモーション事業として、株式会社LDH JAPANとの地域課題解決に向けての連携強化を受け、松阪の誇る観光資源を株式会社LDH JAPANの目線で編集し、シティプロモーションを展開することで、松阪市の魅力を強力にPRする。</p> <p>【ソフト事業経費】 ①まつさか着地型観光事業（委託料）29,919千円 ②インバウンドプロモーション事業（委託料）4,524千円 ③観光シティプロモーション事業（委託料）200千円</p>					 <p>ええやん！行こに 松阪 松阪で特別な体験を、行きたくなるまち松阪へ</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会議所、商店街連合会、NPO法人歴史文化舎、一般社団法人松阪市観光協会、公益財団法人鈴屋遺跡保存会等が実行委員会（事務局：松阪市）に参画し、事業の企画立案・実施に関与する。 松阪市住民自治協議会連合会と連携し、地域住民のイベントに対する意見、参加者としての意見を事業内容への反映に取り組む。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①観光消費額（推計）（+19.5億円） ②モニタリング対象10施設入込客数（+9.1万人） ③モニタリング対象宿泊施設宿泊者数（+4.5万人）</p>

事業概要【2025年大阪・関西万博を契機にした観光誘客と観光消費拡大による地域経済好循環創出事業】

旧制度（推進）

申請者	三重県名張市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	34,000千円 (10,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用した観光キャンペーンやイベントを実施し、観光誘客を図る。 ・観光プロモーションの最適化や観光事業者の経営能力の向上を図る。 ・観光商品、土産物等の開発支援及び宿泊を伴う長期滞在を促すことにより、観光消費額の拡大を図る。 ・国内外の旅行会社へのセールスを実施し、万博開催時のインバウンド誘客を図る。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>①観光誘客・物産販売推進事業（4,800千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者DX支援業務 ・総合プロモーション（オンライン及び首都圏・関西を中心としたシティプロモーション） ・観光キャンペーン、イベント開催 <p>②万博プロモーション事業（366千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万博関連イベントでの観光プロモーションに関する設営・案内・撤収業務 <p>③インバウンドプロモーション事業（2,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語によるオンラインプロモーション ・関西プロモーション ・海外メディアへのプロモーション </div> <div style="flex: 2;"> </div> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①名張市を訪れた人の1人1回当たり旅行単価（+3,418円） ②赤目四十八滝の観光入込客の年間延べ数（+27,305人） ③東奈良名張ツーリズム・マーケティングが造成したツアーへの外国人参加者数（+500人） ④市内宿泊客の年間延べ数（+18,963人）		関連URL https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/1327

事業概要【持続可能な地域を育む人材育成計画】

旧制度（推進）

申請者	三重県尾鷲市ほか4自治体	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	60,021千円 (20,881千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<p>目指す将来像「地元を愛し地元根付く人材育成」に向け以下に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者や移住者が働く上での受け皿である地場産業の強化 ・シビックプライド、地元を愛し地元根付く人材育成（定住、Uターン対策） <p>なお、課題については「若者の都市部への流出」、「地域の基幹産業である第1次産業の担い手不足」が挙げられ、これらの解消を図ることに注力している。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>1. 地域での学び・体験の支援にかかる 各種講座、体験事業等の開催（委託料、報償費、賃借料、消耗品他）3,259千円</p> <p>2. 子どもの学び・体験の支援育成メニューの構築、実施（委託料、報償費、使用料、消耗品他）0千円</p> <p>3. 地域に根付く担い手の受け皿づくり（地元就職や産業の育成）事業（委託料、補助金）6,572千円</p> <p>4. 地域の魅力の情報発信 交付対象事業費（負担金、委託料、消耗品、印刷製本費等）11,050千円</p>		
KPI	<p>①東紀州地域内の高等学校等卒業後の地元就業率（+1.70%）</p> <p>②移住に係る行政窓口（空き家の情報提供や移住体験などを担当する各市町の定住移住関連担当窓口）を活用した東紀州地域への移住者数（+244人）</p> <p>③第1次産業をはじめとする地域の産業及び伝統文化等の体験学習回数（+378回）</p>		<p>関連URL</p> <p>【尾鷲市】 https://www.city.owase.lg.jp/0000022489.html</p> <p>【熊野市】 https://www.city.kumano.lg.jp/administration/?content=778</p> <p>【紀北町】 調整中</p> <p>【御浜町】 https://www.town.mihama.mie.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/gyoseijoho/1/1410.html</p> <p>【紀宝町】 https://www.town.kiho.lg.jp/government/revitalization/comprehensive_plan/</p>

※尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町の広域連携事業

事業概要【デジタル技術を活用した市内企業の活性化及び魅力発信事業】

旧制度（推進）

申請者	三重県尾鷲市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	18,221千円 (5,250千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	「第2期尾鷲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、基本目標1に「稼ぐまちをつくとともに、安心して働けるようにする」と掲げています。地域の稼ぐ力を高め、やりがいを感じることができるしごと・雇用機会を創出し、持続可能な地域経済の活性化に繋がる取組みを進めることで、「生産性が高く稼ぐまち」を実現することを地方創生として目指す将来像とします。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>1. 市内企業の活性化事業 関係者と連携し、企業の発展支援を行うとともに、企業情報のPRを行い、事業者が連携して実施する活性化に向けた取組み等： 1,870千円</p> <p>2. 市内企業のDX推進支援事業 地元企業においてDX推進を支援し、各企業における生産性向上を図るため、DX関連事業に係る経費を補助する：2,080千円</p> <p>3. デジタル技術活用魅力発信事業 協同組合尾鷲観光物産協会や尾鷲商工会議所、地域事業者と連携して地域を活性化させていくため、各種PR等を実施する： 1,300千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における新規雇用者数 (+3人)</p> <p>②支援事業を通じて拡大した売上増加額 (+300万円)</p> <p>③DX推進に向けて行動した事業者数 (+30社)</p> <p>④事業に関する情報発信回数 (+150回)</p>	<p>デジタル田園都市国家構想推進交付金（地方創生推進タイプR6-9）</p> <p>A. 目指す将来像</p> <p>B. 課題</p> <p>C. 交付対象事業</p> <p>【経費内訳(R7年度)】</p> <p>【KPI】 現時点→3年後 法人数 (475社→475社) 売上増加額 (0円→300万円) DX推進事業者数 (0社→30社) フォロー数 (3300→5000)</p>	<p>関係URL</p> <p>https://www.city.owase.lg.jp/000022489.html</p>

事業概要【つながり・はぐくむプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	三重県鳥羽市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	168,731千円 (61,120千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>今後、地域外の人々と地元住民の関わりの機会を増やすことで、来訪地としての魅力を増しつつ、移住者や関係人口を増やし、外からの刺激を受けながら地域の課題解決につなげていく。また、地域の中でのコミュニティも多様化しており、地縁組織に加えて趣味・特技を通じた関わりや働くことを通じた幅広い世代の交流をデジタル手法も交えながら活発化していくことで、過ごす・暮らす上での満足度の高い、皆と「つながるまち」を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○働くことを通じた活躍・つながりを促進する <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援、企業育成支援の実施経費 委託料 2,464千円 ・市無料職業紹介所の運営経費 報償費等 1,777千円 ○デジタルでつながる仕組みをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動を促進し、「見える化」するためのアプリ導入 委託料 17,270千円 ・デジタル技術を活用した情報発信 補助金 8,800千円 ○地域外との新たな交流・つながりを広げる <ul style="list-style-type: none"> ・海外からの誘客・交流プロモーション 委託料 9,000千円 ・モニターツアー開催及びモニター結果を活用したプロモーション 委託料 1,100千円 ・移住相談・移住プロモーション事業経費 報償費等 6,914千円 ○趣味や特技を活かしたつながりを盛り上げる <ul style="list-style-type: none"> ・文化・スポーツ活動団体への支援 補助金 3,570千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①鳥羽ファン（オンラインコミュニティの登録者）数 (+600人) ②まちトークの開催地区数 (+21か所) ③無料職業紹介所でのプチ勤務のマッチング人数 (+15人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.toba.mie.jp/sos/hiki/kikaku_keiei/gyomu/1681.html</p>

事業概要【コンパクトプラスネットワーク TOBAモデル】

旧制度（推進）

申請者	三重県鳥羽市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	119,409千円 (33,157千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的・効果	暮らしの利便性を効率的に保持していくため、各地区のサービス拠点の再編・統合等を進め、後年度に過度の負担を残すことがないようにしていくとともに、拠点の集約化により著しい不便さを生じることがないように配慮し、デジタル化はもとより、公共交通等を活用して居住地域外へ出かけられる環境を維持していくことで、住民の健康維持やまちの経済の健全化に努め、本市らしい「コンパクトプラスネットワーク」を目指す。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な規模で公共交通を維持していくための検討 <ul style="list-style-type: none"> ・市内交通の効率的なあり方検討 委託料 2,000千円 ○施設コンパクト化の補完策及び地域医療の確保に対する検討 <ul style="list-style-type: none"> ・医療車両を活用したオンライン診療等の実施 委託料 19,957千円 ○乗り継ぎの円滑化やワクワク感向上による公共交通の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢志摩MaaSシステム構築経費 負担金 3,200千円 ・人気キャラクターを活用した誘客促進事業 委託料 3,000千円 ・公共交通の案内表示の充実経費 補助金 5,000千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①かもめバス利用者数の増加 (+27千人) ②市内の年間宿泊者数 (+91万人泊) ③市営定期船キャッシュレス決済利用率 (+20%) ④本土側でオンライン診療を利用実患者数 (+6人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.toba.mie.jp/sos/hiki/kikaku_keiei/gyomu/1681.htm</p>	

事業概要【観光DXでかがやく、観光地域づくり事業】

旧制度（推進）

申請者	三重県熊野市ほか5自治体	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	22,321千円 (7,321千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	ポストコロナにおいて、デジタル技術を取り入れた「ポストコロナにおける観光DXを活用した新たな観光のカたちづくり事業」及び「持続的なヒトづくりに向けた観光ガイド整備事業」を一体的なプロジェクトとして実施することで、持続可能な担い手の育成、消費額の拡大、新たな観光コンテンツの創出による観光資源の魅力向上、持続可能な観光地域マーケティング等を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7 年度事業費	<p>【事業概要】 宿泊施設データに係るエリアマーケティングの仕組みを導入することで、収益の最大化につなげるとともに、コアターゲットへ訴求することで、更なる集客と消費額の拡大及び担い手の確保につなげる。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設での観光DX活用推進事業（委託料）5,000千円 ・旅ナカパンフレット作成事業（印刷製本費）921千円 ・デジタル観光コンテンツ作成事業（委託料）400千円 ・テーマ特化型観光ガイド整備事業（委託料）1,000千円 	 <p><世界遺産熊野古道 観光ガイドの整備></p>	
KPI ※カッコ内の数値 は最終事業年度 までの「KPI増加 分の累計」の目 標値	<ul style="list-style-type: none"> ①東紀州地域における観光消費額（+2,711百万円） ②観光コンテンツアクセス回数（+5,887回） ③デジタルマーケティング参画事業者による業務改善数（+15件） ④システム参入宿泊施設数（+20施設） 		<p>関連URL</p> <ul style="list-style-type: none"> 【尾鷲市】 https://www.city.owase.lg.jp/0000022489.html 【熊野市】 https://www.city.kumano.lg.jp/administration/?content=778 【紀北町】 調整中 【御浜町】 https://www.town.mihama.mie.jp/soshikikarasagasu/kikakuka/gyosei/oho/1/1410.html 【紀宝町】 https://www.town.kiho.lg.jp/government/revitalization/comprehensive_plan/

事業概要【地域資源を活かした6次産業化と観光による輸出・集客促進事業】

旧制度（推進）

申請者	三重県熊野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	177,670千円 (56,887千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<p>農業分野は、温暖な気候での栽培に適した唐辛子やコーヒー、カカオなど市場は小さいが競争力が少ないニッチな市場を意識した新たな農産物や、事業者からの引き合いが強い優良品種の栽培を行う。</p> <p>漁業分野では、アワビなどの種苗を放流し地域資源の増大を図ることで持続可能な地域産業の確立を目指す。</p> <p>特産品の付加価値向上のため専門家の派遣などによる6次産業化で魅力創出とブランド化を推進させ、市外にPR等を行い販路を広げることで、輸出力を強化し外貨を稼ぐとともに、観光業と連携し集客力を向上させ地域内での消費を増加させることで、労働生産性の向上につなげることを目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】</p> <p>第1次産業における収入の確保と新たな収益源の確保を図るため、ICT・IoT等を活用しながら実証実験の結果と課題を踏まえて事業拡大を行う。</p> <p>【主な経費】</p> <p>1 農業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産力強化事業（補助金）18,562千円 ・高付加価値農産物推進事業（補助金等）9,593千円 ・その他対象事業（消耗品費等）1,227千円 <p>2 水産業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流（原材料費等）3,065千円 ・陸上養殖試験（需用費等）3,003千円 ・その他対象事業（消耗品費等）1,802千円 <p>3 付加価値向上のための6次産業化と輸出、集客力向上のためのPR事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化推進事業（報償費等）5,147千円 ・メディアPR（広告料）6,600千円 ・その他対象事業（消耗品費等）7,888千円 		 <p><国内産コーヒーの栽培></p>
KPI	<p>①熊野市ふるさと振興公社の売上高（生産部門）（+109百万円）</p> <p>②漁業者の新たな収入源となる漁業種類及び副収入業種の増数（+1個）</p> <p>③地域特産品や農産物を取り扱う主要直売所の売上額（+1.2億円）</p>		<p>関連URL</p> <p>（効果検証） https://www.city.kumano.lg.jp/administration/?content=778 </p>

事業概要【駅前チャレンジ起業促進事業】

申請者	三重県熊野市				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	51,524千円 (51,524千円)	
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	<p>当市が目指す滞在型観光を推進するため、JR熊野市駅のすぐ近くに位置し、以前は飲食店や和菓子店として活用していた熊野市所有の木造平屋建ての空き店舗を主に飲食店として短期型、長期型の2種類のチャレンジショップ形式の商業施設を新たに整備する。チャレンジショップを活用していくことで、若者や他業種の経営者等による起業や第2創業の促進を図るとともに外国人観光客の受入態勢の強化及び中心市街の賑わいと活力の創出、さらには地域産業の活性化を図ることを目的とする。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 JR熊野市駅のすぐ近くに位置する空き店舗を主に飲食店として短期型、長期型の2種類のチャレンジショップ形式の商業施設を新たに整備し、若者や他業種の経営者等による起業や第2創業の促進を図る。</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備経費 46,030千円 ・備品整備経費 3,140千円 ・効果促進事業（ソフト事業）経費 2,354千円 				 <p>熊野市駅前商業施設（チャレンジショップ）</p>		
地域の多様な主体の参画	<p>市、商工会議所、観光公社、産業支援センター、金融機関と連携を図りながら、チャレンジショップ期間中及び終了後における飲食店等の安定した経営や開業に向け支援するとともに国内外における観光客の受入態勢の充実や起業等の促進を図っていく。</p>				KPI	<p>①創業して熊野商工会議所の会員となった数（+25件）</p> <p>②チャレンジショップを通じて起業及び第2創業した件数（+5件）</p> <p>③チャレンジショップにおける年間延べ来客数（+21,300人）</p>	
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値		

事業概要【にぎわいの森を核としたサステイナブル観光振興】

旧制度（推進）

申請者	三重県いなべ市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	132,340千円（62,860千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産品の開発により、消費の向上を図る。 ・地域特有の資源を活用した自然・地域文化の創出により観光交流人口の拡大と滞在時間の増加を図る。 ・地域の人材育成、販路拡大、ターゲティング及びプロモーションにより、認知度の向上と消費の拡大を図る。 ・デジタル技術を活用したスタンプラリーにより回遊データを分析し、行動喚起・移動喚起に向けたプランを作成する。 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○地域の人材育成支援事業として、研修会を開催するほか、市民をターゲットにした実証実験研修により改善につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サステナビリティ・プロモーション研修・実証実験（謝礼・委託）：5,500千円 ・会議及び実証実験（消耗品）：360千円 <p>○商品開発やHP等の多言語化、既存商品の磨き上げを実施、ターゲティングを実施しイベントの開催や出展により、開発する商品やサービスが実行可能であるかの調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発等の支援（委託）：8,000千円 ・商品開発経費（補助）：3,000千円 ・市内マルシェ開催（委託）：3,000千円 ・自然体験イベント開催（委託）：10,000千円 ・プロモーション経費（委託）：10,000千円 ・DXを活用した回遊実証実験経費（委託）：8,000千円 ・海外のエージェント等招聘経費（委託）：3,000千円 ・HP等多言語化改修（委託）：12,000千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①観光消費額（+1.03億円） ②山辺商品及び旅行商品開発数（+10件） ③観光入込客数（+25,000人） ④観光産業の経済波及効果（+4.9億円） 		関連URL https://www.city.inabe.mie.jp/shisei/keikaku/keikaku/1004053.html	

事業概要【梅林公園を核とした自立的観光振興事業】

申請者	三重県いなべ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	121,000千円 (77,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 梅林公園の整備に向けて、更なるインバウンド等の高付加価値層や企業研修等の団体受入れを図り、梅林公園を核とした受益者負担で運営される自立的な観光を手段とした地方創生推進事業体制の実現を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○梅林公園観光拠点ポテンシャル強化事業 ・連携計画の策定業務 10,500千円 ・連携のための人材育成業務 5,000千円 ○ツーリズム事業 ・人材育成業務 6,000千円 ○プロモーション業務 SNSによる広報体制構築業務 10,000千円 インバウンド現地セミナー、ファムトリップ業務 4,000千円 マスメディア広報業務 3,500千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一括管理システムの導入 8,000千円 ・備品購入 30,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>まちづくり法人と連携し、インバウンドや企業研修・団体旅行の受け入れを増加させるに当たり、ローカルメディアを活用した情報発信や、両行体験受入事業者の育成を図り、地域全体で旅行客を受け入れる体制を構築する。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①観光入込客数の増加人数 (+13,400人) ②観光産業の経済波及効果 (+274,908千円) ③ツーリズムにおける受入れの1回当たりの消費額 +400千円) ④ツーリズムの来訪者数 (+5,000人)

事業概要【若年層の定住を促進するしごと創造プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	三重県志摩市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	45,389千円 (23,835千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> 若年層が働く場を創出する 市内企業への若年層の就職の推進を図る 市内企業DXセミナー等によりデジタル人材の育成を図る 		
事業概要・ 主な経費	<p>○創業支援事業 新規創業者の支援及び創業者が交流する交流会を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> 新規創業者を支援（補助金）6,000千円 創業交流会の開催（委託料）500千円 </p> <p>○若者の地元就職を促進する雇用促進事業 就職情報サイトを活用した市内企業の情報発信を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 就職情報サイトへの特設ページ掲載（委託料）2,420千円 </p> <p>○市内企業DX推進事業 市内のデジタル化を推進するため、DXセミナーやプッシュ型のDX化支援等の実施やデジタル人材を育成する講座を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> 市内企業デジタル化推進事業（委託料）6,262千円 デジタル人材育成講座（委託料）8,653千円 </p>		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①社会減による人口減少数の改善数（+50人） ②支援を経て創業した創業者数（第二創業を含む）（+53人） ③助成金を活用した新規雇用数（+135人） ④デジタル人材養成講座の受講者数（+37人） 		<p>（交付金の具体的用途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>関連URL</p>		

事業概要【志摩市における観光周遊バス・タクシーの実証運行による観光周遊促進事業】

申請者	三重県志摩市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	26,169千円 (26,169千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<p>【交通空白解消、周遊ルート確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通を活用した周遊ルートの整備：タクシーとバスによる周遊ルートを運行し、横山展望台、賢島、観光農園へのアクセスを向上させ、公共交通機関を利用して来訪する観光客の利便性向上と地域経済の活性化を図る。 DXシステムの導入：鉄道会社のプラットフォームにプロモーションと予約システムを構築することで、販路拡大、利便性向上、データ分析による観光戦略の強化を図り、若者やインバウンド対応強化を図る。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>タクシー・バスで観光周遊ルート（賢島・横山展望台・志摩市観光農園）を実証的に運行することで、二次交通不足による周遊性・消費額の課題を解決する。また、デジタル予約システムを導入することで利用者の利便性を高め、利用データを分析し今後の戦略に活かしていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タクシーによる周遊ルートの運行企画費：13,238千円 2. バスによる周遊ルートの運行企画費：6,000千円 3. DX化による予約システムの構築・デジタルプロモーションの実施：2,235千円 (その他、事務費等4,696千円) 				<p>交通空白解消 観光周遊ルートの確立</p> <p>賢島</p> <p>英虞湾遊覧 周遊プロモーション</p> <p>周遊ルートの確立による 地域経済の活性化 交通空白の解消による 観光客の利便性向上</p>	
地域の多様な 主体の参画	<ol style="list-style-type: none"> ① (一社) 志摩市観光協会と連携し、観光客と観光事業者、地域住民の三方よしの観光地を形成していくために、管理運営を行う。 ② 近鉄グループホールディングス(株)、東海旅客鉄道(株)のプラットフォームを活用し、情報発信を強化する。 ③ 自身が住んでいるまちが、今後観光地としてどうあるべきか考えるきっかけづくりとして、地元高校生等が観光客にアンケートを取る。 ④ (株) 中日新聞社より、事業に関する情報を提供してもらう。 				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域内における観光消費額 (+6億円) ② 周遊ルートを利用した観光客のうち志摩市内に宿泊した人数 (+300人) ③ 実装運行するタクシーの利用者 (+24,000人)

事業概要【「不易流行」と「旅・住包摂」の観光まちづくり事業】

旧制度（推進）

申請者	三重県伊賀市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	219,678千円（131,412千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的（効果）	目的：観光を取り巻く社会的状況の変化への対応 地域に受け継がれた有形・無形の歴史文化資源を活用した持続可能な観光まちづくり 効果：産業としての観光の底上げと古民家や歴史的建造物の保全と歴史伝統文化の継承			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	1. 地域に残る有形・無形の歴史文化資源の掘り起こし（再生）と利活用【マネタイズ】 ① 新たな旅行商品の企画立案及びモニターツアーの実施 7,500千円（負担金） ② オウンドマルチメディアによる一体的な情報発信に係る費用 3,000千円（負担金） ③ 販路開拓に向けたターゲット地域での商談会など 9,000千円（負担金） 2. 観光人材の発掘・育成【ひとづくり】 ① JSTS-D基礎研修、観光ガイド研修、観光セミナー等の実施 4,000千円（負担金） 3. 地域一体となった公民連携による地域経営体制【しくみづくり】 ① マーケットデータの継続収集と財源確保に向けた調査検討 7,500千円（負担金） ② 観光まちづくり協議会の運営および市内における観光まちづくりの機運醸成イベントの企画開催9,300千円（負担金） 4. 県史跡 鍵屋辻公園内における文化的価値を有する施設の改修などの整備 86,412千円（委託料）		<p>地域のWellbeing向上を目的とした観光まちづくり</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・観光消費額単価（+1,869円） ②・・・伊賀市の地域ブランド力（+40位） ③・・・住民参画度（+6 p t） ④・・・市民、事業者、出身者等を対象とした観光まちづくりに関する勉強会・セミナー・ワークショップ等の実施件数（+15件）		関連URL https://www.city.iga.lg.jp/0000000211.html https://www.iga-guide.com/	

事業概要【地域・観光ポータルを活用した地域生活圏及び広域観光連携事業】

申請者	三重県多気町ほか4自治体					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	167,929千円 (87,432千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 「LINE」を美村エリアの地域・観光ポータルに位置づけ、地域内外の人々に魅力的な情報や機会を提供し、関係人口を増やす。 美村エリア内での消費促進を図り、定住・移住促進にも寄与し、地域活性化、地域の持続可能性に繋げる。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 地域の魅力に精通しているアンバサダーによる情報配信や、イベントの参加によりサービスの普及促進を図る。LINEという身近なツールを通じて地域情報を発信することで、多くの人々にアクセス可能な形で魅力的なコンテンツを提供す地域内での消費促進や関係人口増加につなげていく。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○美村プロジェクトダッシュボード構築事業（委託料）7,600（千円） ○美村エリア周遊ツアー造成事業等（委託料）5,460（千円） ○三重県観光連盟共同プロモーション事業（委託料）1,500（千円） ○SEO対策等のディレクション、解析事業（委託料）2,580（千円） ○LINE版美村ポータル構築事業（委託料）14,400（千円） ○美村パスポート連携事業（委託料）23,000（千円） ○美村PAYポイント自動付与事業（委託料）16,000（千円） ○事業全体の制度設計・ディレクション等（委託料）13,932（千円） ○美村アンバサダーによるPR原稿等（委託料）2,960（千円） 					<p>美村公式LINEのイメージ（案） - メニュー</p> <p>【全体】観光者向けと住民向けのサービスとタブで分けたリッチメニューを利用する</p> <p>イベント・お知らせ…観光に関するイベントやお知らせ 観光コンシェルジュ…AIを利用したボットを想定（今後） カテゴリから探す…遊ぶ・食べる・泊まる等のカテゴリのお店やスポットを紹介 美村PAY・QR…美村PAYのページに移動、マイQRとQR読み込み機能 パスポート…会員登録／登録後のマイページ</p> <p>コミュニティ…町の公開講座やコミュニティ、クラブ活動の紹介 癒しと健康…ヘルスクアの歩数や写真共有など（案） ※初回利用の場合は、お住まいの町を選択してもらい、その町の情報をベースに機能を提案する。町の設定や通知などは美村パスポートのメニューから変更する想定。</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>一般社団法人三重広域DXプラットフォームが事業全体の運営・管理を実施し、広域連携による自治体それぞれと事業ごとに細部にわたる調整を実施していく。</p> <p>デジタル地域通貨事業では、地元の金融機関と連携した事業を行い、利用者の拡大や加盟店の促進等を図る。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①5町平均の人口社会増減数（+12人） ②観光入込客数（+120,000人） ③美村版LINE登録者数（+3,300人） ④美村PAY利用者数（+1,500人） ⑤地域イベントへの企画・参加件数（+15件）

事業概要【産学官連携伊勢麻GX推進プロジェクト（天津菅麻プロジェクト） **旧制度（推進）**】

申請者	三重県明和町	初回採択回	令和6年度第1回募集					
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	104,000千円（34,000千円）					
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野					
目的・効果	<p>・明和町内の公有地や遊休農地等で伊勢麻を生産し、麻に関する歴史文化の継承と農業としての麻生産の確立、担い手の確保および明和町内での麻産業の振興を産学官連携により伊勢麻の聖地化および大麻によるGXの推進を図ることにより、本町の特性に合った多様で付加価値の高い産業を創出し、第一次産業の特産品開発を促進することや既存・新規立地企業の支援等によって、足腰の強い地域産業構造の構築を目指す。</p>							
事業概要・ 主な経費	<p>○麻産業創造開発研究事業 生産基盤の確立・担い手育成（委託料）3,000千円 麻産業プラットフォーム構築・運営（委託料）5,000千円 大麻草に係る調査研究（委託料）6,000千円 麻産業創造開発計画策定（委託料）2,000千円</p> <p>○麻の聖地化ブランディング事業 麻にまつわる観光コンテンツ開発（委託料）2,000千円 麻文化継承推進プログラム開発・実施（委託料）3,000千円 麻の聖地化ブランディング策定（委託料）5,000千円</p> <p>○大麻でGX推進事業 GX化に向けた調査研究（委託料）4,000千円 脱炭素みえる化推進システム開発（委託料）4,000千円</p>							
※経費内訳はR7年度事業費	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>明和町産学官連携伊勢麻振興プロジェクト(天津菅麻プロジェクト)</p> <p>目的 明和町内の公有地(国史跡斎宮跡)や遊休農地で伊勢麻を生産し、麻に関する歴史文化の継承と農業としての麻生産の確立、担い手の確保および明和町内での麻産業の振興を産学官連携により実施し、伊勢麻の聖地化および大麻によるGXの推進を目指す。</p> <p>実施体制</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>株式会社 伊勢麻</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>HEMP INNOVATION</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>三重県 明和町</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>皇學館大学 KOGAKUSAN UNIVERSITY</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>明和観光公社</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;"> <p>① 大麻草の在来種の保存、品種改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種(日本の在来品種の保存、播種用の種の安定供給、食用/油)の栽培 ・栽培時に生じる葉、花穂の有効活用(本邦産、CBD等カンナビノイドの抽出の検証) </td> <td style="width: 20%; padding: 5px;"> <p>② 麻生産技術、歴史・文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斎宮跡や明和町内で土地を確保し、生産した大麻を使って精麻(麻繊維)や麻糸、麻布などを生産 ・麻糸、麻布(荒紗)に関わる技術の継承と活用 ・神事用大麻の生産 </td> <td style="width: 20%; padding: 5px;"> <p>③ 麻文化の継承と地域ブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻の栽培～麻布になるまでの一連の過程を体験プログラムの造成 ・麻糸織みの技術継承 ・チームの構築 ・斎宮や御免地区の歴史文化による地域ブランディング </td> <td style="width: 20%; padding: 5px;"> <p>④ 産業利用実験農場・施設を策定研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻の多岐にわたる産業利用に必要な試験農場、研究施設の開設、関連企業の誘致 ・ハンフコークス、スーパーキャパシタ、バイオプラスチック等の新産業利用の実証研究 </td> <td style="width: 20%; padding: 5px;"> <p>⑤ 新たな麻産業の創出に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麻草の活用に関する情報の収集 ・大麻草の活用に関する啓発活動 ・大麻草の活用に関心をもち企業間の連携 ・認証制度に関する調査研究 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">大麻でGX宣言（脱炭素先行地域）により明和町が取り組みを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明和町が脱炭素先行地域となり、各府省庁の支援策も活用することで、GXの社会実装を後押しする。 ・上記の取り組みを町として強力にバックアップすることにより2030年度の温室効果ガス46%削減や2050年のカーボンニュートラルの達成、安定的で安価なエネルギー供給につながるエネルギー需給構造の転換の実現、さらには、明和町の産業構造・社会構造を変革し、将来世代を含む全ての町民が希望を持って暮らせる社会の実現を目指す。 </div>			<p>① 大麻草の在来種の保存、品種改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種(日本の在来品種の保存、播種用の種の安定供給、食用/油)の栽培 ・栽培時に生じる葉、花穂の有効活用(本邦産、CBD等カンナビノイドの抽出の検証) 	<p>② 麻生産技術、歴史・文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斎宮跡や明和町内で土地を確保し、生産した大麻を使って精麻(麻繊維)や麻糸、麻布などを生産 ・麻糸、麻布(荒紗)に関わる技術の継承と活用 ・神事用大麻の生産 	<p>③ 麻文化の継承と地域ブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻の栽培～麻布になるまでの一連の過程を体験プログラムの造成 ・麻糸織みの技術継承 ・チームの構築 ・斎宮や御免地区の歴史文化による地域ブランディング 	<p>④ 産業利用実験農場・施設を策定研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻の多岐にわたる産業利用に必要な試験農場、研究施設の開設、関連企業の誘致 ・ハンフコークス、スーパーキャパシタ、バイオプラスチック等の新産業利用の実証研究 	<p>⑤ 新たな麻産業の創出に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麻草の活用に関する情報の収集 ・大麻草の活用に関する啓発活動 ・大麻草の活用に関心をもち企業間の連携 ・認証制度に関する調査研究
<p>① 大麻草の在来種の保存、品種改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種(日本の在来品種の保存、播種用の種の安定供給、食用/油)の栽培 ・栽培時に生じる葉、花穂の有効活用(本邦産、CBD等カンナビノイドの抽出の検証) 	<p>② 麻生産技術、歴史・文化の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斎宮跡や明和町内で土地を確保し、生産した大麻を使って精麻(麻繊維)や麻糸、麻布などを生産 ・麻糸、麻布(荒紗)に関わる技術の継承と活用 ・神事用大麻の生産 	<p>③ 麻文化の継承と地域ブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻の栽培～麻布になるまでの一連の過程を体験プログラムの造成 ・麻糸織みの技術継承 ・チームの構築 ・斎宮や御免地区の歴史文化による地域ブランディング 	<p>④ 産業利用実験農場・施設を策定研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻の多岐にわたる産業利用に必要な試験農場、研究施設の開設、関連企業の誘致 ・ハンフコークス、スーパーキャパシタ、バイオプラスチック等の新産業利用の実証研究 	<p>⑤ 新たな麻産業の創出に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麻草の活用に関する情報の収集 ・大麻草の活用に関する啓発活動 ・大麻草の活用に関心をもち企業間の連携 ・認証制度に関する調査研究 				
KPI	<p>① 麻にかかわる担い手の育成人材数（+9人）</p> <p>② 麻の耕作面積（+7.6ha）</p> <p>③ プラットフォーム参加企業数（+70件）</p> <p>④ 体験コンテンツ造成数（+8件）</p>	関連URL	<p>（実施体制）</p> <p>https://www.town.meiwa.mie.jp/main/soshiki/senryaku/senryaku02/kikaku/iseasa/2859.html</p>					
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値								

事業概要【プロジェクト SOJ ～住みやすい町“大台町”人口増加計画～】

申請者	三重県大台町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	5,070千円 (1,534千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯をメインターゲットとしたお試し住宅を整備し、移住・定住施策の促進を図る。 地元企業等と連携した空き家の利活用に係る取組により空き家の減小を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 お試し住宅を整備するとともに、空き家見学ツアーを通じて空き家の利活用を考える機会を創設し、地域との連携により、地域資源である空き家の利活用を検討し、移住・定住施策の促進を図ります。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お試し住宅の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・委託料（住宅の借りに係る経費） 792千円 ・委託料（住宅の維持、管理に係る経費） 132千円 ・備品購入費 600千円 ○空き家見学ツアーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・事業費（委託料） 150千円 ・バス借上げ料 100千円 ・講師料 50千円 ・会場使用料 10千円 					<p>地方創生☆政策アイデアコンテスト2023</p> <h2>住みやすい町 大台町</h2> <h2>人口増加プロジェクト</h2>   <p>お試し住宅</p>	
地域の多様な 主体の参画	商工会や地元金融機関の立場から、連携可能な企業を助言いただく。また、新聞社の立場から、地域の情報等を提供していただき、情報発信について助言をいただく。					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①取組を通じた町外からの移住者数 (+60人) ②空き家見学ツアーの参加者数 (+30人) ③空き家バンクの新規登録件数 (+75件) ④お試し住宅の整備件数 (+2件)

事業概要【多様なつながり創出・交流拠点「田丸駅交流施設」を中心とした関係人口深化・拡大事業】

申請者	三重県玉城町	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	32,000千円（13,000千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場（拠点）を中心市、地域内外の交流を促進し、関係人口・交流人口の増加を図る。 ・地域住民と関係人口との活発な交流により、地域住民の郷土愛を醸成する。 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ①関係人口の活動支援 2,500千円（委託料） <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の活動体験支援制度事業実施 ・ファンの集い開催 ②気軽な交流、ファンが集う機会創出事業 3,000千円（委託料） <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した体験型ツアー実施 ・関係人口・地域住民との交流イベント ③プロモーション活動 4,000千円（委託料） <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド向けに注力したSNS情報発信 ・効果的な観光PR・魅力発信 ・地域外（中京圏、関西圏等）イベント開催、出展費 ④コーディネーター人材活動 3,500千円（委託料） <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口と地域住民をつなぐコーディネーター活動 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①交流施設利用者数（+5,000人） ②ファンクラブ会員数（+300人） ③イベント参加者数（+250人） 		関連URL	https://kizuna.town.tamaki.mie.jp/chosei/gyokaku/shisaku/kasokuka.html